

B-3: 研究経営・戦略・IR

開催日時・会場 9月4日(水曜日) 10:40-12:10 B201(2階)

SDGsに大学はどう貢献していくか？

SDGsが最近の歴史において最も野心的かつ重要な世界的合意の一つであることはいうまでもありません。SDGsが世界規模で成功するためには、大学はその実施において主導的役割を果たす必要があります。このためには、大学全体でのアプローチが不可欠です。そして、大学自体がビジョンや方向性を明確に示すことの重要性があちこちで語られています。

このセッションでは、大学がSDGsにどう貢献していくのか、その取り組み方の方向性やビジョンのありかたを議論したいと考えています。オーガナイズは、福井大学と関西大学がいたします。セッションでは、まず、SDGsの取り組みに複数の大学でコンサルされている一般社団法人SDGs推進士業協会代表理事であり弁護士である植松康太先生から、大学でのSDGsへの取り組みに関する包括的な基調講演をいただきます。そのあと、お茶の水女子大学の理事・副学長でいらっしゃる佐々木先生から、大学全体の取り組みの考え方を大学の現場の立場からお話いただきます。続いて、富山大学の状況もコメントいただいた後、オーガナイザーである福井大学と関西大学も加わり、さらにご参加されているみなさんにも加わっていただいて議論を深めていただくと考えています。

まだその方向性をまさに今議論されている各大学の取り組みを加速する何らかのきっかけになることを期待しています。同時に、SDGsを通じて、URAが大学の研究戦略・経営戦略に少しでもかかわっていくことも期待しています。是非セッションにいらしていただいて、いっしょに考えていきましょう。

オーガナイザー

館 正一: 関西大学 大学本部URA 上級リサーチ・コーディネーター



学生時代にデザイン会社を起業。その後、大手広告代理店にて広報・広告の企画に従事。2016年より関西大学学長室リサーチ・コーディネーター(イベント・コーディネーター/サイエンス・コミュニケーター)着任。文科省私立大学ブランディング事業においてブランディングの戦略立案、ディレクションに携わる。研究広報という視点で大学広報、研究戦略の業務全般に従事。

河上 寛: 国立大学法人福井大学 産学官連携本部 URA



1995年富山大学工学研究科修士課程修了。同年、民間企業に入社し、インクジェットプリントヘッドの技術開発に従事。2018年5月から、福井大学産学連携本部にて、ポストアワード、産学官連携業務を担当。

講演者

植松 康太: 弁護士法人四ツ橋総合法律事務所・代表弁護士
一般社団法人SDGs推進士業協会・代表理事



2005年 関西大学法学部法律学科卒業

2007年 関西学院大学法科大学院卒業

2008年 弁護士登録

2016年からSDGsの普及推進に取り組んでおり、2018年5月、有志で一般社団法人SDGs推進士業協会を設立。

大学、地方自治体、経済産業省等での講演を数多く実施している。2019年1月、りそな総合研究所との業務提携を開始し、企業におけるSDGsの実践的な取り組みを拡大していくため精力的に活動を展開している。

佐々木 泰子: お茶の水女子大学 理事 副学長



1976年 お茶の水女子大学文教育学部卒業

1978年 同 大学院人文科学研究科修士課程修了

2007年 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授

2015年 同 基幹研究院人文科学系教授

2016年 同 副学長兼務

2019年 同 理事・副学長

大学では現在、理事・副学長として国際交流・男女共同参画を担当されている。ご専門分野は社会言語学・日本語教育。

小泉輝武: 国立大学法人富山大学
研究振興部研究振興課 統括コーディネーター



平成7年3月筑波大学大学院博士課程化学研究科修了。同年4月新技術事業団(現科学技術振興機構:JST)入職。技術移転促進、法人企画・予算要求業務、シンクタンク設立、基礎研究推進、社会技術研究推進、科学コミュニケーション推進、研究開発拠点形成(文科省受託事業)、科学と社会の関係深化など諸々の業務に従事。平成30年10月富山大学出向、現職着任。同大学の研究力強化促進に関する業務に従事。